伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
電話 七・四六七〇
社長 黒石清作
Director M Sameshima
購讀料 一ヶ年 六十軒
半ヶ年 三十軒
廣告は御照會次第御返信

珈琲
サントス四級十キロ ノミナル
リオ七級十キロ 一一、五〇〇

爲替
對日 四、六六六
對獨（記名送金） 五、八一〇
對米 一九、七七〇
對英 八〇、〇五〇

乾坤一擲

英本土上陸準備着々進捗

獨の侵入不可避の事態

神に頼つて祖國を守れ

悲壯チャーチル英首相ラヂオで全國放送

（ロンドン十一同盟）チャーチル首相は十一日首相官邸からラヂオを通じ全國民にドイツ軍の對英侵入作戰が着々準備されつゝある事實を傳へ、今や大英帝國の運命を決すべき歴史的時期の到來したことを述べ、全國民は神の加護を信じつゝ斷乎祖國防衛に當る可しと悲壯な演說を行つた

演說要旨次の如し

ドイツ軍は英本土に侵入せんとして着々諸般の準備を進めてゐる、即ち自動小舟數百隻が目下オランダ、ベルギー、フランス三國沿岸に盛に集結しつゝあり、更に數個の護送船團（合計百二十隻余）が、侵入軍を英海岸へ輸送すべく英佛海峡方面に集結してゐる、この背後にはドイツの大軍が英佛海峡横斷といふ危險極まる然も不安定な行動に出でんとして待機してゐるのだ

吾々は何時獨軍が來襲するかその期日を豫言することは出來ない、然し吾々にも三軍の強兵が控えてゐる、就中空軍は直ちに起つて獨軍を攻撃すべく待機してゐる、顧みるに

現在進行中の事態はその大規模なる點に於て先づ人間の生命今後の世界並に文明に及ぼすその影響の甚大さに於て歴史の如何なる時代にもなかつたことである

時の話題

英獨空中の死闘は日益しにその凄慘の度を加へてゐる、攻撃に防禦に秘術と精魂を傾け盡しての猛襲反襲は、今後史上に殘さるべき幾多の事象を提供しつゝあるが、英獨双方共制空を完全に防衛し得ざる事を暴露してゐる事實は大きな教訓と云はざるを得ない、空軍大編隊の進攻に對し防禦軍は攻撃機による果敢なる反撃による以外に有効な阻止方法が無いもの〻如く、最も期待されてゐた地上砲火の防禦能力も完全に期待外れとなつた、毎日の撃墜機數の發表が最も雄辯にこの事實を物語つてゐる、從つて戰前より既に指摘されてゐた英國側の地形上の不利と、機數上の劣勢は防空陣地によつては補ふに術無く、日と共過去の油斷が惡果を齎してゐる、公平なる立場から見ても英側の劣勢は覆ひ難い、六千米突の高空から急降下によつて投ぜられる一噸の爆彈は、海軍主砲四十珊彈を凌駕するの猛威を逞ふする、海陸無差別に襲來する獨機大群からこの強力彈を雨霰と降らすからには英國各地の受けつゝある損害は想像に絶したものがある筈だ、十一日夜英首相は「神の加護」云々なる一語を入れて演說した、日頃剛腹と負けず嫌ひを以て鳴るチャーチル氏の言だけに現在英國におこりつゝあり又おこらんとしてゐる悲劇の深刻さを示唆するものとして極めて意味が深い大英帝國今や文字通り崩壊前夜の危機に直面したのである

田邊三井支店長代理

釋放される

【倫敦十一日同盟】三井物產ロンドン支店長代理田邊俊介氏は去る八月二日英官憲に不法逮捕され、ブリクストン刑務所に拘禁中であつたが、英外務省は十一日駐英帝國大使館に對し、田邊氏を十一日夜釋放する事になつた旨通告して來た

穀肥相場

穀肥大豆一八一五
一六六〇、豆粕二
五〇、小麥一二八
四、硫安三九四、ふすま六一
五、六一五

「倫敦はもう駄目だ」

英政府逃げ仕度に忙しい

Admitida a possibilidade do abandono de Londores,

【紐育十二日同盟】AP電によれば、昨日の紐育タイムス紙は、英國政府は近く倫敦より他へ移轉するであらうと報じて米國人を驚かせた、今や倫敦市は獨逸空軍の重圍に陥り、連續爆撃に市民は半狂亂となり、既に倫敦の防空設備は殆ど破壞せられ、各方面からの通信網も大半其用をなさず、市内には六万に上る死傷者を生じ、各病院は超滿員となつてゐる、諸處におこる火災鎭壓に働く消防隊員を十五万人に增員したが間に合はない、此儘放置する時は英政府も倫敦と共に滅亡するが故に政府當局は目下他に移轉するため準備に忙殺されてゐる

猛爆のため倫敦取引所閑散

諸株一齊安

【ロンドン十一日同盟】ロンドン株式取引所は、獨空軍の猛爆に依り、取引員の缺席するもの增加し、商ひ少く、株式債券共に一齊安を演じた。

二萬五千（延數）の獨機倫敦空襲か

【紐育十一日同盟】英機の伯林空襲に對し獨空軍が又如何なる態度に出るか注目されてゐる折柄、十一日AP伯林電が特殊な筋から得た情報として十一日及び十二日の兩日に亘り延機數二万五千台の獨機を動員し、佛海岸より一日四回に及ぶ史上空前のロンドン大爆撃を敢行すると報じ、センセーションを起してる

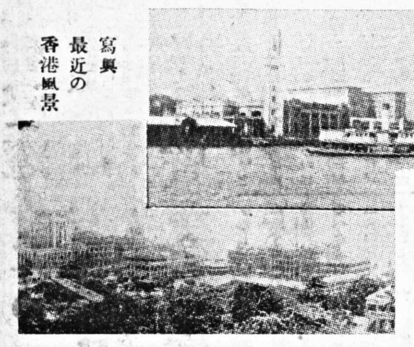
騰貴した諸株も

チャーチル演說で俄然崩落

【東京十二日同盟】株式市況英國空軍の獨逸爆撃の報を交換して諸株一弗未滿乃至二弗方の高騰をなしたが、依然警戒裡で商ひは少量選擇買ひが見られた程度であつた處、チャーチル英首相が獨軍の英本土上陸作戰切迫せりとの警告的演說をしたのを眺め人氣惡化し、現物高騰も帳消しとなつた

英の香港侵蝕罪惡史（上）

英國の過去二世紀にわたる支那搾取の策源地であつた香港は、支那事變以來特に抗日政權の機密室と化し、援蒋列國の唯一の據點として我が國民の憤激の的となつてゐる、將抗日政權が皇軍によつてその全海面を封鎖され、豐饒なる土地と軍需工業都市とを完全に占領され、平時に於る國庫收入の大半を占める關税、鹽税、統税等の財源を斷たれながら僻四川省の山奥にあつて抗戰を豪語し援蒋國との政治、經濟、外交全般に亘つて緊密な連絡を保つてゐるのは、一つに香港の存在にかゝつてゐるといつても過言ではない、さきには英帝國主義の支那侵略の策源地として、支那今日の窮乏と混亂の要因をつくり、今また東亞新秩序の癌となる紺碧の海と緑の山々に圍繞された香港も、百年の歴史を繙くと、可憐な容姿に阿片を蔵する罌粟の花にも比すべき英國罪惡史を秘めてゐる



寫眞 最近の香港風景

◎アヘン侵蝕史

香港が英國に割譲されたのは今から丁度百年前、アヘン戰爭（一八四一年）に清國が大敗し、南京條約（一八四二年）締結に基く、アヘン戰爭の直接の原因は、英國の不法なるアヘン政策による支那侵略に對し、時の欽差大臣林則徐が廣東の英商館のアヘン押收とこれが燒却といふ、峻烈なる處置による事は、およそ東洋史を一讀したものは誰でも知つてゐるところである、然し英國のアヘン政策による支那侵略史と、英國によつて持込まれたアヘンによつて、支那民族が如何に深刻にその害毒に惱まされたか、支那が如何に搾取され荒廢したか、いかに英國のアヘン政策なるものが天人ともに許さぬ人道の敵であるかについては、これを深く知るものは眞に少いなかには支那百年の混亂は、支那民族の缺陷に基くものである、アヘンは支那人が自制心なく世界中で一番獵奇的な人種であるが爲めこんな他國人の好まぬアヘン等を吸ふやうになつたのだ、などゝ得といふほかはない、英國の代辯者のやうな暴論を吐く輩さへある　孫文は其の民族主義の項に於て、アヘン戰爭以後支那人の對外心理は幾度か變遷し、然も變遷の度毎に民族精神も亡び民族的自信も消滅した、支那人の對外心理の變遷の順序は最初は、「蔑視」であつたが、其れから「排斥」となり、排斥から「畏懼」に墮落し、畏懼から又墮落した「諂媚」となり、更に墮落して「依賴」となつたと慨嘆してゐる、支那民族をして民族的自信力を喪失させ、今日の如く英米諂媚依賴とならしめたものは何か僕はこれは全くアヘン政策に基く百年來の不幸が、今日の結果を招來したものであり、支那よりアヘンを拂拭する事即ち英勢力を一掃する事なしには支那民族の自信力を完全に取り戻すことは不可能と思ふ、然らば英國のアヘン政策による支那侵略史は如何なるものか、香港の罪惡史は英國の支那侵略史であり、其れはアヘン侵略史だ、まづアヘンといふものは、一體どんな魅力を持ち如何なる害毒を流すものかを一應說いて置く必要がある

◎アヘンの魔性

この頃支那新聞を見ると、社會不安を反映して若い男女の自殺が毎日一束になつて載つてゐるが、その殆ど全部がモヒかアヘン服毒自殺である、其の徴候は先づ腦髓の知覺中樞を犯し、これを麻痺せしめる、その反應は頭痛に始まり眩暈をおこし、順次に昏睡狀態に陥り、呼吸は不調となつて血行は遲緩し、脈博は不整微弱に、瞳孔は縮小して皮膚は蒼白となり死に至るものだ

（つゞく）

滿獨友好の一環

兩國貿易協定期間延長

向ふ一ヶ年有効・正式調印終る

【新京十二日同盟】滿獨貿易協定の有効期間は、本年五月末を以て完了する事となつたので兩國政府は右協定の其の後の措置に關し種々交涉を重ね來つた結果、今回兩國間に於て右協定を當今の事態に即應する若干の修正を加へ、その有効期間を更に一ヶ年延長する事に意見の一致を見、本十一日新京に於て韋煥章外務局長官と、ワグネル駐滿ドイツ公使との間に協定に署名調印を了した、仍て右に關し左の通り滿獨兩國政府の共同コンミュニケが十二日午前發表された

共同コンミュニケ

康德五年九月十二日署名されたる滿洲國及びドイツ國間の貿易及び支拂ひに關する協定が、本年五月卅一日を以て有効期間を完了するにより、滿獨兩國政府間に於ては、その後の措置に關し先般來協議中の處、今般右協定に當面の事態に即應する若干の修正を加へ、その有効期間を本年六月一日より更に一ヶ年延長する事に意見の一致を見、本日新京に於て滿獨兩國全權委員の間に右協定に署名調印を了せり

【東京十二日同盟】外務省では、十二日新京で調印を見た滿獨新通商協定に關し、十二日正午次の如き情報部長談を發表した

滿洲國及びドイツ國間の貿易及び支拂ひに關する協定が本年五月卅一日を以つて有効期間を滿了したるにより、滿獨兩國政府においてその後の措置に關し、先般來交涉中のところ、今般右協定に當面の事態に即應する若干の修正を加へ、その有効期間を本年六月一日に溯及し、更に一ヶ年間延長することに意見一致を見本日新京において韋外務局長官とワグネル駐滿ドイツ公使との間に右協定署名調印を了した旨、在滿洲國大使館より外務省に公報があつた

小林商相一行

無事バタビヤ到着

【バタビヤ十二日同盟】UP電によれば、蘭印使節小林商相一行は本日無事バタビヤへ到着した

外國人に神經尖る米國

市民權剝奪制限法案可決

【華府十一日同盟】米下院は十一日の本會議で、外國人に對する市民權賦與制限並に市民權剝奪に關する法案を可決上院に送附した、右法案は外國に國籍を有する共產黨員ナチス黨員及びファシスト黨員を米國市民に歸化する事を防止すると共に、外國軍隊に入り又は外國の選擧に加はつたものに對しては、米市民權を剝奪する事を規定したものである

◇
◇
◇

英國史上曾てなき椿事

バッキンガム宮殿に爆彈の洗禮

有名博物館附近にも數彈落下

【倫敦十一日同盟】ロンドン上空を亂舞しつゝ市内各處に戰慄的爆擊を繰り返す獨空軍の一團は、遂に十日ジョージ六世の王宮バッキンガム宮殿の一角を爆破し、國史上かつて無い椿事を起した、即ち八日夜の空襲の際投下された時計仕掛け爆彈一個がバッキンガム宮殿内に落ちたがこれに氣付く者が無かつた爲め十日に到つて爆發し壯麗な北側正面の一角を破壞、爆發地點に近い宮殿の二階は豪華な手摺の上にガラスの破片が飛び散り悽慘な光景を呈した、尙ジョーヂ六世、及びエリザベス皇后は折良く御不在であつた爲め御無事であつた、又此の夜ロンドンを襲つた獨空軍は市内にある世界的に有名な三つの博物館附近に爆彈を投じ、内一館は建物を破壞され、他は夫々輕微の損傷を蒙つた

全歐米人婦女子に佛印政府引揚を命令？

（UP電）

【紐育十一日同盟】十一日紐育に達した桂林發（廣西省）UP電に依れば佛印政府は支那國境地帶にある全歐米人婦女子に對し速時引揚げを命じたと謂はれる

電擊

◎紐育市輿論研究會發表、英獨戰の勝利見込み輿論、英國が勝つ、ドイツが勝つ、棄權の順、數字は％

昨年九月 八二―七―一二
十一月 五五―一七―二八
先週 一七―三三―四〇

米人も今度は色眼鏡を外したらしい

◎英國には現在ポーランド、オランダ、ベルギー、フランスの四ケ國の正式？政府が鎭座してゐる、今度は前羅國王が新政府を樹てる由、愈々以て珍妙な賑やかさである

◎チエンバレン前首相の洋傘は余りにも有名、チャーチル首相にはステッキを持たせることに決定した、脚が悪いからと云ふ譯です

◎松岡さんが思ひ切つた中堅新人への拔擢を始めた、今に老朽、若朽無能廢物外交官の首が方々に轉がることであらう

◎在佛印の歐米婦女子に引揚命令出づ、追々佛印もアジヤ本來の姿に戻るか

あばれ大名

（劇上演 映畫化）

久我荘多郎

金[illegible]秀畫

（二百）

瀬戸の卷

相寄る水 （三ノ五）

笑ひをふくんだその聲は、皮肉な響きをもつて聞かれたから、平馬は

「おのれッ！」

と、諦め切れずに引返さうとしたが

「これ、横溝どの」

と、みんなは嗜めて

「いや、失禮御免」

サッと經藏を出た。がらりッと鐵のやうな欅戸を閉めるあとはまた、經藏の中の四角い暗黒に一穗の蠟燭が、ぼやつと、まるい円光を描くばかり

その森閑たる中で、例の黄檗僧は、いまの騷ぎも微風の吹くほどにも感じなかつたがギッギッと曲ろくをきしませると、傍の僧と同じ姿勢で手にする宋版の書物に目を落すのである。そのまゝ三昧の境に身をしたしきるのだつたが――外にはまだ、かすかに人の聲が聞える。ピタ、ピタと、しづかな足音までが、何となくひそやかに、罪惡氣に、寺のまはりを步いてゐる彼らにしてみると、それが最後の手段なのだらう。かうして、大三郎たちの姿が現はれるのを、待つ氣に違ひない。

しかし、老僧の心耳は、そんなことに動かされない。二人の僧は造り物のやうに、曲ろくによつてゐた

チ、チ、チ――と蠟涙が泣く

「お？……」

氣がついたやうに、例の老僧が、もの憂げに身を起したそして、讀みさしの書物を曲ろくの上へ伏ると、ポカ〱と、床に木履の音をさせて步き出すのである。步み寄つたところは、すゝけた壁の一隅だつた。手をさしあげてそこを撫でると、まるで指で切り拔いたやうに、小さな隱し窓が開いて、夜風をしのばせた

僧は積上げてある書物を踏んで、隱し窓から外を見廻してみたが、「まだゐる」

と呟いた。が、音もなく、その窓を閉めると、また、ボカボカと木履の音をさせて、こんどは、さつき平馬が疑惑をはさんだ唐櫃の前に立つてコツコツと蓋をたゝく

「オイ。表にはまだ見張りがあるが、このまゝでは息苦しからう。出てくるがいゝ」

そのくだけた言葉と態度は格式のたかい黄檗派の僧侶、としては、ちよつと怪しい氣がするが――彼こそ、大經藏の中にかくれ棲む一つの曲者ではあるまいか？

唐櫃の蓋を叩く僧の合圖にその南京朱漆の花鳥彫をした蓋が、中からポンと開いた。顔を出したのは支倉大三郎と織枝、それに萬太郎の三人である。やはり、彼らはこゝに匿まはれてゐたのだ

「や、やッ！」

僧は、三人が唐櫃から出て燈火に半顔を照らしたのを見て、ギョッと、奇蹟的な聲を擧げた

「お前さんは、織枝さんぢゃないか！」

「えッ！」

ハッとする間もなく、それまで、一切沒我でゐたいま一人の僧が振返つて

「あ、マンタロウさん！」

と叫んだ

呆然としてゐる三人の前でその二人の黄檗僧は、假面を脫ぐやうに、頭髯や付け眉やそして、頭巾までをむしり取つて捨てた

「あ、あッ！」

驚くのが當然である

何といふ意外なことであつたらう

そこに見られたその人は、明國人の老人ではなかつた。それこそ、久しく消息を絶つてゐた隆圓であり、グレニントだつたのぞ

新政治體制
國民組織

運動浸透のため 實践推進機關組織
次回常任幹事會で審議決定

【東京十二日同盟】東朝所報新體制の國民組織を「會」とするか否かの點に關しては、十日の第四回準備委員會に於て、國民組織は全國民を參加せしめるべき運動とするのは當然であるが、又其の運動を指導する先達者の實践推進機關も必要である、常任幹事會試案たる新組織の中核體は、この意味で推進機關なりと諒解すべきであると意見の一致を見たので、十一日首相官邸で開かれた常任幹事輔佐會は右の意見に基き組織要綱案並に實行の兩規約案を練り直したが、事務局と國民協力會議のみを以て構成する中核體を全國民運動の推進機關となす事は、餘りに構成人員が少すぎるし、結局精動に於る本部の如き政治力の無い事務機關に堕する慎れがあるので、中核體の構成範圍を擴大し、事務局及び協力會議の他に推進班又は挺身隊行動隊とも呼ばるべきものを參加せしむべしとの意見が有力に擡頭し、十二日の常任幹事會に於てこれを議題に採り上げて審議決定する事となつた。右案に依る推進班は、新體制運動を直接國民に浸透せしめる行動隊の役割を持つものである。尚同日の輔佐會に於て中核體を「會」の名稱で呼ぶか否かは決しなかつた

「會」と決定した 實践推進機關の名稱
豫想されるその機構内容

【東京十二日同盟】新體制組織については十日の第四回準備會に於て全國民の運動として、此の運動を實践推進する機關を會とする事に意見の一致を見たので、常任幹事會及び輔佐會に於て、これが規約案の檢討を開始したが、常任幹事會に於て實践推進機關を會とする場合、會員は中央本部の役員のみとなり、その員數も減退されるで、運動の促進に指導的役割を取る可き他の人士は積極的活動を爲し得ない事になるから、右役員以外にこれ等指導的分子を以て構成する推進體を中核體内に附置する必要があるとの意見が起り、十二日午後二時より開かれる常任幹事輔佐共同會議に於てこれが檢討を進める事になつた、而して目下常任幹事會に於て考慮されてゐる推進體の内容は大体左の如きものである

一、國民運動の推進實践機關役員に非ざる者で近衞公の聲明の主旨を體して積極的に國民運動の推進力たるべき者を以て構成する

一、推進體は中央事務局並に國民協力會議と並列せしめるか、又は事務局の一部とする

一、推進體は宣傳啓蒙など國民運動の啓發指導を爲す

一、推進體は中央本部並に道府縣支部、郡市支部、町村支部に夫々設置する

一、推進體委員は中央本部に於ては總裁の指名、支部に於ては各支部長の指名に依り選任する、その員數は未定

一、推進體委員に對しては運動實践指導者としての訓練を行ふ

新體制輔佐會
首相官邸で開かる

【東京十二日同盟】新體制輔佐會は十二日の常任委員會輔佐共同會議に先立つて午前九時より首相官邸に開催し、特に松本常任幹事も出席して十一日の會議に引き續き、規約綱領問題を中心として檢討を加へた

論議紛々たる 新體制綱領案

【東京十二日同盟】新體制の綱領に就ては、第四回準備委員會に於て有馬座長より規約要綱二本建を採擇するに關聯して、全國民運動の綱領と推進機關の綱領の二つに分離する必要がある旨强調し、これが取扱ひに就ては、準備會の常任幹事會で檢討を行ふ筈であるが、常任幹事の意嚮としては、全國民組織運動綱領、實践綱領の二つに分ける方針である

新準法令ずべきに

校舍敷地の再登錄 並に公共團體組織

次に起る問題は右賃借契約の借主の主體であらう

従來の如き日本人會或は之に代る内國團體は現在種々なる困難に當面してゐる事は周知の處であるが、幸にして此の難關を通過し得た場合、更に又警察側の嚴重な監督と取締を受け且つ毎年役員の善行證明書及其他の書類並に納税受取を提出し、年毎に許可を取替へねばならぬ、之が爲め費用數百圷を毎年消費するのみならず現在の情勢よりみるに次々に新たなる要求あり豫想以上困難が其將來に横たはつてゐるのではないかと思はれる、如何なる時代が到來するも安心し之迄日本人會の行ひ來つた事業を依然として繼續し得る組織は「地方在住邦人ノ代表者ヨッテナル一組合」である、此の組合は従來の日本人會の役員をもつてし實際上日本人會の役員會なのである、成可役員の延期は短くて三ケ年とし、滿期後役員名に變更のあつた時は該組合員たる前役員より委任狀を受け新役員は組合員」のプロクラドールの形式で地方在住者の世話をするのである、但し數人の者に無期限に依頼出來れば之に越した事はない、若し「組合員」の中他へ移轉する者が生じた時は組合員たる資格を當時の役員の一人に法律上の讓渡をすればよいかくする事により此の組合は日本人會或は内國人團體の様に毎年行政上の手續をする必要がなく之が爲め消す費用も節約し、警察官憲の煩さい干渉も受ける必要がない、又此の「組合」は形式上一經濟團體であるが、その目的は民事事業であるから商法上の取締を受けず、従つて帳簿等も日本人會で用ひてゐた従來通りのもので結構である

扨て總會を如何にするかに付疑問が起るであらうが之も極簡單である

地方在住者と「組合」の關係は法律上個人的なものとなる「組合」は地方在住者の衞生交通、共濟其他雜多な問題を解決す可き一私的組合であり在住者は個々之を利用してゐる丈の事であつて、之迄の日本人會の様に在住者の代表機關ではないのである、或ひは在住者全體を代表するが如き事があつたとしても、それは従來の日本人會とは全く異つた立場による代表である、但「組合」は地方在住民と直接利害ある事業を行ふ機關であるから組合の總會の場合、その事業に關心を有つもの、出席を乞ひ又意見を聽取する事は組合自身の發展上必要缺く可らざる事であらう、此の意味に依る會合を行ひ實際上の日本人會總會を開催するのである

組合の名稱は、何々（地方名）協同組合とすべきか

組合員の國籍に制限はないが子弟教育を目的の一とする場合三分ノ二は伯國の國籍を有する者たるを要す（第二世及歸化人をもつて足りる）

右の如き組合をもつて校舍敷地の借主とする事が現情に最も即したるものと云ふ可きである、我等は團體組織をもつ事及不動産を所有する事それ自身を目的とするのでなく、従來の公共事業を繼續するをもつて終局の目的とせねばならぬから。（此の項終り）

製法特許 ハリバ

奢侈品彈壓の渦紋
日本商工會議所 その對策を練る
政府に對し希望意見批瀝

【東京十二日同盟】日本商工會議所では十一日常議員會を開催、各商工會議所の有力者六十餘名出席

奢侈品等の製造並に販賣制限に依る影響に對する對策につき審議の結果、政府に對し左の如く要望する事となつた、即ち

同禁令は突如として發せられた爲め民間業者のこれに對する準備が無くその結果業界に多大の混亂を起してゐる實情にある、政府は至急次の諸對策を講ずると共に、同規則の運用に關する政府の對策を統一するやう取りはからはれたい

一、政府は速に十月十日以後に於ける販賣猶豫期間商工業者の進む可き方針を明かにし不安を緩和す可し

一、猶豫期間については長期低利資金の融通につき特別の便宜をはかる等、適切なる措置を講ずる事

一、輸出向けに轉換し得る商品については適切なる措置をとり、円ブロック向け輸出に適するものについても同樣の考慮をはかる事

堀内大使館參事官 特命全權公使へ榮轉
大橋八事・新進の拔擢急

外務異動

【東京十二日同盟】第三次外務省人事異動は、十二日次の如く正式發表されたが、曩に本省東亞局長より上海總領事、大使館參事官に轉出した堀内干城氏は、特に特命全權公使に任ぜられ、又滯京中の矢野眞スペイン公使及び歸朝命令を發せられた藤井啓之助駐支大使館參事官は何れも依願免職になつた。尚駐ソ大使建川中將に對しては一兩週中に親任式を執り行はせられ、同時に栗原駐トルコ大使に對し官記を傳達せしめられ、正式發令される模樣である。又新歐亞局長阪本瑞男氏は十日ローマ發モスクワ經由で歸朝の途に在り、本月末歸京する筈である

外務省亞米利加局長　吉澤清次郎
任特命全權公使被仰付カナダ國駐劄
公使館一等書記官（ルーマニア）　寺崎太郎
任外務省亞米利加局長
外務省歐亞局長　西春彦
任特命全權公使被仰付ソ聯邦出張
總領事兼大使館參事官　堀内干城
任特命全權公使兼總領事被仰付中華民國出張（公使として）被仰付上海在勤　總領事として）
大使館參事官（イタリア）　阪本瑞夫
任外務省歐亞局長
外務書記官（儀典課長）　鈴木九萬
任特命全權公使、被仰付エヂプト國駐劄
外務書記官（文書課長）　昌谷忠
任特命全權公使被仰付フィンランド國駐劄
大使館參事館　大橋忠一
外務省歐亞局長阪本瑞夫不在中同局長代理を命ず
外務省調査部長　田中正一
命調査部第一課長事務取扱
外務書記官（調査二課長）　重光信男
命大臣官房文書課長大臣官房翻譯課長兼務
外務書記官（人事課長）　門脇季光
命大臣官房儀典課長兼務
特命全權公使（スペイン）　矢野眞
大使館參事官（北京）　藤井啓之助
依願免本官

總力戰研究所 十月一日より實現

【東京十二日同盟】官民を一丸として國家總力體制に即應すべき總力戰研究所設置に關しては、その後法制局を中心に官制案の作成を急ぎつゝあり、近く成案次第閣議に附議決定の上、豫定通り十月一日より開設する事となつた

荒鷲暴る

【〇〇基地十一日同盟】十一日荒鷲の各編隊は龍州、貴陽街道の要衝河池を空襲、その西方の倉庫群を爆擊、集積されたガソリンを炎上せしめた

日本財界 昨今の趨勢
資金難の傾向現る

【東京十二日同盟】下期に入つてからの金融界は金融機構の強化、市場資金の減少を以つて特徴づけられてゐる、市場資金生産力擴充資金並に各種救濟資金の需要は當局屢次の抑制策にも拘らず依然增勢を持續し、而も他方資金の供給は円滑を欠くかに見られ、これが對策の速急なる樹立を要望されてゐる、即ち東京組合銀行週報に依れば九月七日現在の貸出金合計は六十億三千三百万円で、七月六日現在に比し二億九千四百万円の增加であつたが、預金は僅かに一億十二百万円の增加に過ぎず、需要に對し供給はその三分の一の割合であり、又斯る情勢を反映して各金融機關の社債、前貸金も激增を示してゐるが、八月末現在に於る右總額は興銀のみで四億九千八百万円で、上期末に比すると一億五百万円の增加となつてゐる

餘録

◎紐育の作物買ひまた延期、ドイツの上陸作戦が十一月になると云ふ話

◎佛印問題に關する外國通信は次の通り、シンガポール電日本軍の通過にフランス側大反對、サイゴン電、交渉は順調に進行中、上海電、國境の鐵橋爆破、ロンドン電、ペタン佛首相と佛印總督は對日交渉で喧嘩を初めた

◎ブルガリアが地中海へ出たいと駄々をこね出した、ギリシヤ、トルコは大恐慌、……パトロンが無いからね

◎ドイツが南米へ古武器を賣ると云ふので北米が騒ぐ、商賣の強敵現ると云ふ次第、安くて良い物を欲しいのは人情です

◎ノールウェーに新政府が出來たそうです

超短波

特別大演習

滿洲國では來月中に新京國軍航空隊、機械化部隊參加の下に特別大演習を擧行する旨十二日發表した

中流住宅の模型

北米ブルクリン博物館から東京市に對し中流住宅の模型を寄贈方希望して來たので東京市では八ケ月の日子を費して實物より二十分の一の模型を完成、近く發送する事になつた

水の猛訓練

海國男子として實戰の際クリーク位泳げなくては面目にかゝはると、壯丁に水の訓練を行つてゐるが、十二日四ツ谷小學校の游泳訓練所を覗いて見る、同所には約二百人の壯丁が集合勇しい軍事訓練を一通り受け、訓練が終るとプールに飛び込んで午後の四時まで四時間泳法の訓練を受け、五日間の會期が終るまでに泳げるやうになるのだと

畏き思召し
釜屋大將葬儀に際し

東京十一日同盟　畏き邊りでは、去る十日逝去した我が海軍の功勞者釜屋成鳩大將の葬儀が十三日行はれるに先立つて、十二日午前勅使として内藤侍従を世田ケ谷區北澤の屋敷に差遣はされ、幣帛並に祭資を下賜せられた

小林商相

小林商相以下蘭印特派使節團一行の乘船してる日昌丸は十二日午前八時バタビア岸壁に横附された、此の時港内にあつた軍艦は禮砲を以つて迎へ、空からは飛行機が出迎へ壯觀を呈した、商相は下船後波止場に整列した儀杖兵の閲兵を行ひ宿舍インジーズホテルに入つた、小憩後、午後六時總督を訪問正式に挨拶を行ひ夜は晩餐會に臨んだ

近衞首相參内

近衞首相は十二日午後一時宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰せ付けられ、一般政務を奏上御下問に奉答して御前を退下した

新時代に準ずべき公共團體組織に關する説明書及び定款令を無料配布致します

申込みは
聖市　木下法律事務所へ
Caixa Postal, 1386 - São Paulo
（切手同封の事）

粒選りのビクター邦樂新譜

聖市　羽瀨商店
郵函二……八
電話二・一五七五

ヒット・エンド・ヒット
愈々出て愈々好評、まあ一度最寄の御店で御試聽下さい

J五四七〇七　流行歌　大地は呼ぶ　灰田勝彦
滿洲旅路　金廣つぼみ
東亞の黎明を喚起する銃後の流行歌、若い人に呼びかける溌剌たる力と響きを漲らせてゐます。近頃自慢の爽快なる逸品

J五四六四七　女の教室　美しき星　歌上艶子、灰田勝彦
主題歌　藤穗唄の　瀧田菊江
春宵口誦むによき小曲、歌詩も曲もしつとりと夜霧に濡れたやうな名盤

J五四七〇三　流行歌　青春のタンゴ　灰田勝彦
上海セレナード　由利あけみ
由利のスロー・フォックス・トロットに灰田のタンゴ調、若い人たちを惱殺せずんばやまぬ飛切りのモダン流行歌です　青春モダン人士のライブラリー是非一本を備へて頂きたい魅惑調です

J五四六五〇　愛國歌　銃後の日本大丈夫　四家文子
愛國婦人會が特に撰定した銃後家庭强化の歌です愛國の血炎ゆる御婦人方に熱を以て御薦め致します

J五四七〇六　流行歌　走れトロイカ　德山璉
ホロンバイルの華　波岡惣一郎
宮本吉次御得意の北國もの。老練德山に上つて吹雪に暮れる北國の情趣がほのぼのと浮び出す抒情篇「ホロンバイルの華」は熱血の志士ピンバー大尉の壯烈果敢なる事蹟を歌つた愛國情熱譜

J五四六四五　主題歌　三味線武士　新田八郎
三味線武士　江戸前お濱　市丸
本月發表の出色盤、市丸の持味をこれほど活かした盤も珍しい、ふるい付きたいやうな節廻しです

四〇四三（赤）　テノール獨唱　船頭歌　藤原義江
鉾をおさめて
義江久し振りの本格的藝術歌大いに期待して頂けると思ひます

Z一二〇　俚謠　江差追分　前唄　山本麗子　尺八入
本唄

五〇四五八　小唄　立山節
大津江　みき光

Z二五七　漫才　相撲狂時代　右樂、左樂
身長八寸五分體重三百六十匁のビール山と身長四分五厘體重二匁八分のフライビンズ嶽とが泡と油を出し合つてプク／＼ツホ／＼の大熱戰、大舌戰、正に兩國の大鐵傘を搖がす爆笑の好取組です

J四〇〇一三―四　浪曲　二枚　追分しぐれ　雲月
ガラリと趣きを變へた小氣味のいゝ股旅物。義に强く情に弱い仁侠、桑田の彌太郎が恩義の爲め櫻のやうに潔く散つて行く旅人仁義を歌つた讀切物、數多の登場人物がまるで別々の演者によつて讀まれてゐるかと思はれる雲月の神技に今更ながら驚歎すべき出來榮です

本月入荷新盤　羽瀨商店

流行歌・軍歌

旅は道づれ 浪曲淺草	井田照夫
マドロス氣質 別れの並木路	立花ひろし 高松美枝子
赤城戀しや 信濃の夜霧	紀田寛 喜代丸
乙女なりやこそ カナカ踊り	三原純子 井田照夫
虚無僧月夜 港の夜風	有馬通男 喜代丸
民謠草紙 寫眞を添えて	井田照夫 喜代丸
血染の戰闘帽 戰友星	小野巡 美ち奴
肉彈傳令 軍國母のたより	鹽まさる 美ち奴
鴨綠江吹雪 軍國二階節	鶴田六郎 美ち奴
水郷物語 ふるさと淡路	鹽まさる、ふみ子 中村柾子
涯なき泥濘 月の塹壕	小野巡
ゆかりの唄 綠の地平線	ミネ、玲子 楠木繁夫
男ごゝろ 宵の濡れ髪	楠木繁夫 淺代
人生出帆 サーカス娘	鶴田六郎 服部富子
ギターに寄せて 胸をたゝいて	楠木繁夫 ディックミネ
雲月の母 さらば我子よ	美ち奴 青山伸
街の椿姫 翼なき鳥	青山伸 中村柾子
美はしの宵 スキーの唄	中野百合子 楠木繁夫
國境越えて 曠野に咲く花	楠木繁夫 淺代
虎造づし さめざめ街道	鶴田六郎 ふみ子
御晨自瓦版	市三
主題歌 あゝ玉杯に花受けて	楠木繁夫
友情夜曲 友よ一氣朗らかに	藤山一郎 楠木繁夫
小野巡傑作集	小野巡
春と兵隊 廣東夜曲	鬼俊英 生島清美
九段の子守唄 君が武勳	中村柾子 櫻井健二
土の戰士 夢の牡丹江	鹽まさる 服部富子
主題歌 良人の貞操	江戸川蘭子 千葉早智子
愛馬進軍歌	藤山一郎
白虎隊 小楠公	藤山一郎 古賀久子

音樂

マンドリン　オーケストラ
谷の灯ともし頃　古賀政男
山の人氣者　指揮　明
明大マンドリンクラブ

マンドリンの獨奏
ドリゴのセレナーデ
タランテラ　四竈清

管絃樂　椿姫　リヒアルト
エーガー指揮
伯林交響樂團

同タンゴ　ラクンパルシータ
あのギターを聽かずや　アルゼンチン
オーケストラ樂團

同タンゴ　秋の情調　アルゼンチン樂團

女群亂舞　オスカー・ヨースト樂團

同タンゴ　ヴェニスの夜　プリモ・スカーラアコーデオン樂團

ナポリターナ　伯林アドロン樂團

ナンセンス・コーラス　笑ふリズム　ナンジヤラホワーズ

ナンセンス・コーラス　ハワイよいとこ　アキレタボーイズ

歌ふリズム　愉快な混線　水島早苗　木村美雪

浪曲

妹の歌	（四枚）	雲月
雪の夜話	（四枚）	滿月
不如歸	四枚	滿月
本召集令	（四枚）	滿月
妻	（四枚）	米若
母の魂	（二枚）	雲月
九段の母	四枚	雲月
乃木さんと決死隊	四枚	雲月
出征兵士の妻なれば	四枚	雲月
祖國の花嫁	四枚	雲月
瞼の母	四枚	雲月
杉野兵曹長の妻	四枚	雲月
譽れの飛行場	四枚	木村友衞
婦人從軍歌	四枚	米若
佐渡情話	二枚	米若
次郎長旅日記	二枚	玉川勝太郎
神崎東下り	二枚	吉田奈良丸
幼き者の旗	四枚	雲月

其の他

物語　戰線夜情　二枚　泉詩朗
漫才　ワカナの女先生　ミス・ワカナ　玉松一郎
漫才　案内ガール　金語樓

ビクター伯國盤
既發賣好評レコード

鴻恩に泣く 母のつばさ	新田八郎 金廣つぼみ
守備兵節 滿洲暮し	小野巡 勝太郎
與作追分 紅の雀	市丸 金廣つぼみ
馬と兵隊、綠の嶺 眞晝の陣營	楠木繁夫 楠木繁夫
宵待分隊長	新田八郎
米若くづし 佐渡おけさ（輕津節入れ）	米若
戰線日記 雪の戰線	鈴木正夫 金廣つぼみ

石射前和蘭公使
ブラジル駐剳大使に決定

東京ユーピー特電の報ずる所に依ると、過日歸朝命令に接し、來る廿二日リオ出帆の報國丸で歸朝する事になつた桑島駐伯大使の後任として、前和蘭公使石射猪太郎氏が任命された

因に新大使石射猪太郎氏は明治廿年生れで、今年五十四才といふから精神的にも肉體的にも働き盛り、福島縣の産、東亞同文書院卒業後外務省畑の人となり、和蘭國特命全權公使として同國にあつたが、歐洲戰が和蘭に波及した爲め急遽歸國し、今回の外務移動で大使として來伯される事になつた（寫眞は石射新大使）

天皇陛下より大統領へ御祝電

去る七日の伯國獨立記念日に當り畏くも天皇陛下にはゼツリオ大統領へ祝電を發せられた

雜記帖

近くリオ市に開催される第十三回見本市に參加申込の爲め、勝山商務官は去る十日同事務所を訪れ公式に申入れた

◆

豫て伯國軍用爆擊機を北米へ注文中の處愈々此の程出來上つたので、茲十日以内に六機がリオ上空に勇姿を翔はす事になつた

◆

アラサツーバの驛舎は商業都市に相應しくない狹少なので來年度に新築する事に決つた

◆

來る十四日（土曜）二回目の「お蝶夫人」に出演する長谷川敏子嬢が舞台で使用する草履の緒を切らして、替りが無く困つてゐたが、それを報國丸から買ふことになつたが、さて土曜まで間に合はぬ、ペノスから飛行機で送る？草履の乘客とは蓋し珍中の珍

◆

"一九二一年製"のマルカで賣り出されて困るピラシカバ製のピンガが、斷然他の追隨を許さぬ逸品としてその道の達人に珍重されてるので、これに目をつけた聖市グロリア街の大須賀商店では大々的に賣り出してるが、日本歸りが今度の船で二百本も買つて行つたと

◆

當局は外國人登錄番號について次のやうに呼び出してる

十三日　六二・九五一—六三・〇五〇

十四日　六三・〇五一—六三・一五〇

十六日　六三・一五一—六三・二五〇

十七日　六三・二五一—六三・三五〇

◆

一、三、四、五、七、九、十、十一、十二、十四、十五、十六、十七、十九、二十、これはビショの番號では無い、日本一子寶の家白付長崎總務部長の長男毅さん以下の年齡だ同家は男十人、女六人、女中を入れて廿一人の大家族

あゝ來た！惠の雨が
待望久し空の給水部隊

こゝ數年來天候不順で農家は惱まされてゐるが、今年は特に數ケ月來雨らしい雨とては降らず、都市でも飲料水の危惧に眉をひそめ農家では空を仰いでは來る日も〳〵嘆息をもらし、トレス・バラスの如きは井戸水さへも減じて全く降雨なきをかこち、空の一點にでも片雲を見ては或はとの誠に雲を摑む[illegible]き希望を抱いてゐたのであるが、はからずも二三日前から變な空模樣となり、一昨夕頃からポツリ〳〵と降り始めた雨は夜を通じて降り續いた、降るは〳〵黄金の雨が農家では久しくこの雨を待つてゐた事とて昨日あたりから既にカツタン〳〵とプランタ機の音を心地よく響かせ乍ら、久方振りの愁眉を開いて、何れもニコ〳〵顔で蒔付に忙がしい、手を替へ品を替へ雨乞ひをしてゐた連中、やうやく願ひが叶つた？といふので雨祝ひをやるやらこゝもと農家では全くお祭り騷ぎである

非常に立派なものだ
二世の勉強振りに一驚
政府代表、聖フランシスコ學園を訪問

聯邦政府から派遣され移民實狀調査、外國人兒童教育狀態視察の爲め來聖中の、ドトル・ジョン・カーロス・ビタール氏（前勞働大臣）、メザビーリア氏、ニ・マイエル氏の三名は昨日午前九時突如聖市イピランガのサン・フランシスコ學園を訪問、各教室を審さに廻り兒童の教育實況を見學したが、兒童の圖畫、手工品、書取等の作品を見て日系伯人の優秀に一驚を喫し、後別室で學園側からルイス・田村君代表として

御來校の光榮を感謝致します、三氏がたゞ今御覽下さつた如く、私達は勉學に精出し、日系伯人として伯國社會に貢獻することを誓ふ

と述べ非常な好感を與へ、これについてドットル・ジョン氏は

私は今日皆さんの熱心な勉學振りや、立派な作品を見て、非常に力強く思ひます

といふ意味のことを語り辭去したが、非常な好感を以ていたゞけたと思ひますと天内校長は語つた

バーロス執政官
奥ソロカバナの中心都市
プ・プルデンテ市の式典へ

ソロ線奥の産業中心地、プレシデンテ、プルデンテ市は近來頓に發展し、殊に現郡長ドトール・セラボロ氏就任以來水道に下水に學校に公共施設の改善に力を注いだ爲め、町も見違へる程整備されるに至つたので、バーロス執政官の臨席を仰いで一大式典を擧行する事になつた

アデマール・デ・バーロス

聖州執政官は、今晩七時三十分聖市發の州特別列車にて、オーリンニヨスに向ひ同所で鐵道會社の特別列車に乘換へ、サルト・グランデ、クワタ、ランシヤリア、マルチノポリスなど途中各驛の出迎へを受け十四日（土曜）午後七時、プルデンテ市に到着の豫定で、歸聖は月曜日になる模樣（寫眞はバーロス執政官）

佐藤、岡本兩氏を圍み
ラヂオ懇談會開催

昨日午後二時より日本から來聖の日本放送協會國際部第一課長佐藤泰一氏及び國際電氣通信株式會社代表岡本茂氏を招待して、放送並に受信に關する懇談會を催した、出席者左の如し

原ドクター、辻三郎、野村忠三郎、安田義雄、衣川重雄、松井午吉、百武三郎、堀田幸彥、田代、澁谷信吾

主催者側

藤岡技師、黑石本社々長、遠藤編輯長

尚ほラヂオ同好會を作り時々會合を催して日本放送協會と連絡を取る事になつた

青年男女

戸主の他界に同情し
協力して珈琲を採集
植民地に咲いた慰めの花

ノロエステ線グワキサラ驛アウローラ植民地、平田信太郎氏は不幸病魔に冒され、永らく病床に呻吟し、リンスやサンパウロ迄出掛け養生に手を盡したが其の效なく、四十三才を一期として、去る八月廿九日遂に他界した、一家の支柱を失つた同家族は恰も斷崖より突落されたかの如く途方に暮れ悲嘆に覆はれてゐるが、同植民地アウローラ青年會並に女子青年會では同家慰問の爲會員を呼合して去る八日、六十餘名の會員總動員して、一致協力勞力不足で殘つてゐる五千本のカフェー採集を引き受けて見事に濟ませ遺族を慰めてやつたこの力強い、鋒ひ植民地の男女青年の作業奉仕に、近郷一般より限りない賞讚の聲を送つて居る

素晴しい『質』の向上（下）
第八回全伯武道大會　劍道部觀戰記
紫頭巾

個人評

村上君はたしかに「大物」だ、籠手業が凄いといふ事よりも眼、手足、身体が三位一体となつて自由に延び切る業、全く『伸びる劍士』の基本條件を具備してゐるものだ、欲を云へば横面も惡くないが、飛面に一研究を重ね、構えにも腹が出て來たら鬼に金棒、來年への期待も大きい（天凛の素質を延ばすには一にも二にも亂稽古の事、聖西支部にしてこの邊ぬかりなく指導あるやう希望する）

尾辻君の飛面も見事だ、完全に敵の出鼻、或は靜動の虚を衝いた、拔かれることも押へられることもないもので、大豪秋知君も勝敗は別に二本程行かれてゐるし、西君は大きく行かれた。尾辻君にして籠手擊の際に崩れる姿勢を、竹刀で床を叩く場合もある）胴に喰ひ下つて突擊を續ける缺點を矯正したら、村上君に次ぐ好劍士である。だらしなかつたのは木村、葛西兩君で、木村君は焦つて細かく動き過ぎ、葛西君は仕合の初鼻胴を拔かれたのを氣に病み、得意の飛面が出澁り、すつかり萎縮し切つて共に完敗し去つた「第五回覇者」と「第七回覇者」が泣く。捲土重來を期し給へ。奧原君が「待つ劍」より「攻擊劍」への轉向、業も大きく、堂々としてゐた。相澤君の姿勢見事に、あの小兵で大きな處の體當り、或は足がらみへ逆に叩擊を喰はしてゐる等、腰の强さ、といふより自然體を賞したい。笠井君の業も大きく極るが、もつと攻擊的でありたい。西君にはこれといふ特長もないので組し易しと見た諸君がバタ〳〵焦つてゐる裡に結構やられてしまつた。曲者、難劍といふが果してどうか。青木君の上段は五度に一度の効を奏さず裏行かれざるが不思議と思ふべきか。大塚君は練習不足。戸井田、藤井兩君は仕合巧者山下、吉村兩君は敏捷で良い業を持ち乍ら、仕合を兎角粗末にする癖があり、パッ〳〵と早く片附けるが、片附けられるかといふのである。良し惡しは別に、大いなる自信を以てじつくり行かう。櫻井君の眼の確實さ、固いやうに見えてよく動く身體は稽古充分を物語る。對聖西戰で足がらみに倒した敵へ、他が氣にするのを外に悠々待つて、ノコ〳〵起き上る處を討取つた等は一寸眞似出來ない。糞肚胸でも大したもの、又來年も頼みます

埋れ行く拓人の足跡
パイオニアの群
南樹

（26）

（一）

明治四十年は日本人の對伯移住に付て實に惠まれたる年であつた、日露戰爭後の影響を受けて、日本民族の世界にあふれようとする民族的の氣運が、杉村公使の報告に依つて刺戟され、衔も海外を仰望する人達の眼にブラジルと云ふカナンの土地が燦然として輝いた。

「ブラジルへ！ブラジルへ！」

ブラジルが未だ能く日本に知られて居なかつたことが又更に大きな魅力であつた。

先づ移民會社々長と云ふ職業柄第一に食指を動かしたのが水野龍氏で、私がグレンフアーグ號にすゝめられて同伴し伯國の首都リオ・デ・ジャネーロに上陸したのは千九百六年（明治四十年）三月二十七日であつた（これは別に項を改めて筆を起すので茲に詳記せず）

徳富蘆花は思想的な懊惱を解釋すべく明治三十九年四月七日神戸を出帆した備後丸に乘つて、彼が最も崇敬する世界の偉人トルストイ訪問の途に着いた、處が同船中にブラジルに行く一青年を發見した

彼は其著「巡禮紀行」の「方舟の鴿の如く」の項に

「余の船房は備後丸の左舷下甲板、四疊半の室、六箇の床を四字形に二重に設く……南米ブラジルに行く人一人、ミラン博覽會に行く人二人……これ余が同室の友なり。」

と書いて居る、此ブラジルに行く一名と云ふのが三宅榮次郎を指し、私達より遲るゝこと三ケ月にして、ブラジルの土地を踏んだ第二の日本人であつた、それは千九百六年六月二十九日の曉明で、リオ市は最も適順な氣溫の下に霞を被つて繪の樣に展開して居た

嗚呼ポン・デ・アスカールよコルコバードよ、何たる夢見る樣な風景であらう「布團着て寢たる姿や東山」と蕪村をして詠嘆せしめた京都生れの彼に取つてもグワナバラ灣頭の風景は流石にパラダイスの如く美くしかつた、しかし彼の眼は悲しみに曇つて居た、それは彼の懷中に一文朱もないと云ふことであつた。日本語以外に他の外國語を知らない彼は只呆然として船會社のなすまゝに任すより外なかつた。

しかし船會社に取つてもどうすることも出來なかつた。其日ペトロポリスの日本公使館は一種の珍電を受取つた、曰く

「貴國人三宅榮次郎氏本日佛國マルセリヤより當地に着せり。該る所に依ればマルセリヤ乘船の際盜難に罹り一厘錢も有せず、貴國語の外一切他の國語を理解せず、至急通譯の派遣を乞ふ」

此彌次喜多式な興味たつぷりな電報が杉村公使を失つて喪に服して居た公使館内に一種のほゝ笑ましい話題を與へた

そして三宅氏は未だ通譯も送らない内早くも翌三十日には如何にも京都人らしい柔和な姿を日本公使館に現し事情を訴へた。

三宅氏の話を綜合して見ると彼は京都市大黑町五條上ル大黑湯の主人である、本家は富裕な京都でも名を知られた錢湯館であるが、若くして父を失つた彼には女遊びが病付となり母の金をくすねては使ひ果した、流石の母も愛想をつかし別家させて大黑湯を與へた、錢湯の上り高では女遊びもまゝならず、彼が青春の夢も漸く醒めかけた折柄、大阪朝日紙上に「杉村公使のサンパウロ州觀察報告」の登載せらるゝのを讀んで發奮し、家産を興すの道は渡伯の外なしと決心するに至つた。かくて彼は明治四十年二月九日渡伯の旅券を得て、四月四日横濱より備後丸に便乘し、神戸に於て蘆花と同船するに至つたのである。生家の京都に近い神戸から船に乘らず、わざ〳〵東京見物と洒落、「もう日本とお別れ」だと稱し、吉原見學にくり出したと云ふから、如何にも錢湯屋の若旦那らしい未だ全く醒めきらない彼の姿を髣髴たらしめるものがある

◇

◇

重要商品市況

九月日十一日

	買値	賣値
○バタタ　六〇キロ		
アマレーラエスペシアール	六三、	六四、
アルフアファ　キロ	四八〇	五〇〇
○スペリオール	五三	五四
○マンヂョカ粉五〇瓩	三三、	三三
○小麥粉一級	五三	五四
○砂糖　以下六〇キロ入		
極上	七一、五	七二
上等	六八、五	六九
○フエジョン　六〇キロ		
△新ムラチンエヨ		
スペリオール	五七	五八
エスペシヤル	六〇	六一
ボン	五四	五五
レグラール	ノミナル	
△コーレス　六〇キロ		
ブ・グラード	ノミナル	
ロシンエヨ	ノミナル	
シユシビーエヨ	六三	六五
△ミリョ　六〇キロ		
フマレリンエヨ	一七二	一七三
アマレロ	一六八	一六九
アマレロン	一六六	一六七
△アロースアグリア		
エスペシアール	七一	七二
スペリオール	六六	六七
ボン	六二	六三
ブランコ		
エスペシアール	六三、	六四
スペリオール	五五	五六
ボン	五〇	五二
レグラール	ノミナル	
△カテテ		
エスペシアール	四四	四五
スペリオール	四二	四三
ボン	ノミナル	
△メイオ	三九	四〇
△キレーラ	二〇	二一
○セボーラ　リオグランデ　六〇キロ	ノミナル	
○マモナ　キロ	六五〇	六八〇
○ペエヤ　南大河	一六七	一六八
二〇キロ	一六七	一六八
○豚　（オザスコ相場）		
○ゴールド	三五、	三六
○マーグロ	二七、五	二八

急募

職人　四、五名

見習　一名

右至急好條件にて雇ひたし

チンツラリーヤ　サンジヨゼ

ルア・マジョール・セルトリオ九八番

（プラッサ・レプーブリカ近く）

日本行

乘船切符取次所

AV. CAMPOS SALLES Nº 191

富士旅館　新城

Tel 2847. SANTOS

サントス市

社告

謹啓愈々御隆昌之段奉賀候、陳者弊社外交員及支社員が最近各地方に巡回致し居る事は既に御承知の通りに有之候處最近弊社は是等とは別に購讀者各位全般に亘り料金御拂込懇請狀を發送致し居り其の爲或は出先社員と重複再請の場合無きにあらずと思料せられ恐縮に存居候次第に候へ共右は出先社員と本社間の通信連絡上〃延着若しくは行違ひの結果に外ならずして之は決して故意に出でたるものには無之に付此儀重々も御諒察の上萬一上にも斯かる場合有之候節は何卒平素の御愛顧御同情を以て幾重にも御寛恕賜はり度奉懇願候

先は右豫め御願迄　敬具

伯剌西爾時報社

購讀者各位殿

求・女中さん

身許確實なる方一名

高給優遇す

ニカラグワ街五八番

急募

ラバドール及び見習各二名求む

優遇す、聖市アベニーダ・ボンペイア八三三、チンツラリーヤ・コンチネンタル

電話　五—七六八五

讓渡

目下盛業中のパールカフエー住宅附、都合に依り格安に讓りたし

プルデンテ・デ・モラエス　一九七番　ブラス區

タナアミ理髪店

は日本人理髪店中

最古の店

最新の技術

聖市コンセレーロ・フルタード街五〇萬平旅館筋向ひ

笹田醫院

各科診療

マリリア市カンポスサーレス街二九九　電話　二六九

……それでなくてもブラジル育ちの子供には小難かしい事にはすぐ飽きが來ます。

疲れて無理に讀本を開いても右から左へ筒抜けです。

子供には興味本位に面白く、くだけて書いたものでなければ頭にしみこみません。

まあ、探してごらんなさい！

そんな親切な課外讀本になる樣な本は一ッだけで二ッとはありませんから……。

小學校用

學習帳

十冊五銭（郵券可）

母國のお土産には

純日本式

特製ふとん綿を!!

本品は、完全なる設備と優秀なる技術に依つて絶對に他品の追隨を許さぬ、自信を以つてお奬め出來る

唯一のふとん綿

で御座います

聖市コンデ・ド・ピニヤール街七九番

小畑製綿所

日本からの雜誌は

申込下されば迅速に

御送付致します

時報商事部

粉、豆腐用

石臼

一尺經

一個　一〇〇軒

時報商事部

地方取次所

リンス・マリリア・プ・プルデンテ　時報支社

黄金の光り燦然と輝く

世界的大發明

サンワゴールド

黄金代用合金

用途	特長
齒科金代用	絶對二十二金色
装飾品	口腔内永久
金模型等	不變色强靱
用途廣大	操作容易
	價格低廉

代理店募集（サンプル進呈）

元賣發製造

三和合金製作所

大阪市東區田島町二十二番地

農産物委託販賣は　アルマゼン海興へ

Rua Cantareira Nº 546 Telephone 4-6544 Caixa postal 1602 São paulo

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal H
Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL
Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno . . . . 60$000
" Semestre . 30$000
Numero do dia . . . 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII S. PAULO — SEXTA FEIRA 13 de SETEMBRO de 1940 DIARIO No. 2282

Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza

A gangorra de Bucarest

O trono da Rumánia tem uma história complicadissima — a unica história que, desenrolando-se em pleno século vinte, ainda se impregna de caracteristicas medievais e se reveste de acentos tragi-cômicos, sintetizando, da maneira mais autêntica, o espirito de luxo, de intriga e de inconstância das gentes dos Balcans.

Não é por simples acaso que as operetas mais genuinas teem protagonistas balcânicos.

O rei Carol, que foi entregou a coroa ao seu filho Miguel, é por enquanto o ultimo soberano (agora ex-soberano) que viveu de fato, uma vida toda entretecida de escândalos, com intrigas politicas de alta envergadura, com romances de amor audaciosos e nocivos á realeza, e com peripécias de todo gênero, reveladoras de grande inteligência e de não menor descaso para com as imposições éticas de sua origem.

Desde a adolescência, teve de lutar contra a astucia materna. A rainha Maria, famosa pela sua intuição politica bem como pela sua infinita capacidade de amar, foi a mulher fatal dos Balcans, na fase da guerra de 1914/1918, e tambem no periodo denominado de após-guerra. Queria permanecer no trono da Rumánia, a qualquer custo e, por isso, depois de forçar Carol a um casamento de conveniência com a princeza Helena, que agora foi chamada de novo á Rumánia, pelo general Antonescu, promoveu manobras que redundaram na renuncia do então principe Carol, seu filho, á coroa deixada pelo velho rei Fernando. O trono passou a ser ocupado pelo principezinho Miguel, sob a tutela de Maria, sua avó.

Carol foi para a França; depois para a Italia; viveu épocas agitadas com três ou quatro mulheres espetaculares, das quais duas ficaram na historia dos escândalos de então: a sra. Lambrino e a sra. Lupescu. A primeira, afinal perdeu terreno; a sra. Lupescu foi quem de Paris teceu a intriga contra a rainha Maria, propiciando, assim o golpe imprevisto de Carol, que rumou de avião, da capital da França, para Bucarest, assumindo o poder contra seu filho e sua mãi. Esta, ao falecer, anos depois, ordenou que seu coração fosse enterrado em Balcic, na Dobrudja do Sul — vontade testamentária que complicou seriamente as relações da Rumania com a Bulgária (Veja-se a nossa nota de 4 de julho de 1940, intitulada «O Coração Enterrado em Balcic»).

Carol, feito rei não quis ter ao seu lado a esposa, Helena, que partiu para o exterior. Seu lugar na prática foi ocupado pela sra. Lupescu, uma judia de fantástica inteligência, que na juventude, conseguiu pela sedução do seu fisico e pelas manhas da sua inconstância amorosa, o suicidio de várias personalidades de alta projeção.

Uma série de suicidios de homens ilustres, na vida de uma mulher, é sempre uma corôa de glória. Corôa sinistra, sem duvida; mas bastante para acusar o feiticeiro poderio da sua beleza.

Lupescu chamava-se «Wolf», palavra que, em alemão, quer dizer «Lobo»; daí a rumanização do seu nome através da tradução do mesmo para o latim, afim de ocultar a perseguida raça de sua procedência. Em Bucarest, até há poucos dias, ela era quem, como se diz, «fazia o sol e a chuva» a despeito de já poder ser considerada «entrada em anos».

Agora, o trono voltou ao principe Miguel, que o havia perdido para o pai — pai este que já o havia perdido para o filho ... Tal como numa gangorra: enquanto uma aspa da gangorra sobe, a outra desce, e vice-versa.

Entre as descidas e subidas das duas aspas, a Rumánia foi se equilibrando como poude. Carol, durante muitos anos, manifestou ser dono de extraordinária habilidade politica, desalojando, um por um, todos os chefes de partido; mas os partidos ficaram, mesmo sem chefes; e foi a existência de partidos transformados em compartimentos estanques, impermeaveis á própria influencia da corôa que isolou o soberano por tal forma que, na primeira hora de desgraça, ele não encontrou alma viva que o quisesse acompanhar — a não ser a eterna sra. Lupescu.

O destino futuro da Rumania é a mais obscura incógnita da Europa. Nada impede que, mais tarde ou mais cedo, a gangora se mova novamente: nesse caso, Carol subiria, outra vez contra seu filho, ao trono de Bucares, provavelmente para descer de novo — e assim por diante, enquanto houver vida, Balcans e destinos que se parecem com os celebrizados pelas operetas. . . .

Da ofensiva à agressão

Os telegramas de ontem noticiaram imparcialmente terriveis bombardeios em Londres e em Berlim. Parece, pois, que a aviação alemã é mais poderosa do que a defesa britânica e que, em compensação, o mesmo podem dizer os aviadores ingleses em relação á pretendida invulnerabilidade da Alemanha.

Até aqui, todos nós perguntávamos: «Poderá a Inglaterra defender-se dos ataques alemães?» Conforme fosse a resposta, ditada de acordo com as simpatias de cada um, assim se definiria a guerra. Ou pelo arrazamento de Londres e de outras cidades britânicas ou pelo esgotamento da aviação alemã. Uma ou outra hipótese condicionaria a paz a ser pedida por Churchill ou por Hitler.

Está surgindo, porém a terceira hipótese: pode ser, que sem conseguir barrar de todo o caminho aos soldados do ar que Goering comanda, a R. A. F. consiga no entanto levar ferro e fogo tambem ás terras do Reich, cobrando olho por olho e dente por dente. Nesse caso, as destruições e os morticinios flagelarão os dois lados, de tal maneira que afinal um deles, o que fraquejar no ultimo quarto de hora, arvorará a bandeira branca da capitulação.

A melhor defesa é o ataque. A França perdeu a guerra porque se acocorou atrás da linha Maginot, sem se ter preparado para desferir um golpe como o que deu a vitória ao Reich no dia em que o seu ariete abriu a brecha do Mosa.

A Inglaterra não parece disposta a manter-se na defensiva em torno da ilha. Sua aviação ocupa-se em dar combate aos bombardeiros germânicos que a agridem dia e noite. Mas não deixa a Alemanha incólume, a preparar mais aviadores, a construir mais aviões, a organizar ataques mais assiduos e mais violentos, por entre a tranquilidade das populações que só de noticias saberiam o que é um bombardeio aéreo. Ao contrário, portos, usinas aeródromos são alvo tambem dia e noite, da R. A. F.

Se a agresividade da aviação inglesa se intensificar á proporção que se intensifique a da aviação alemã, assistiremos a uma corrida em que os dois inimigos, cuidando quanto possivel da própria defesa, se lançarão desesperadamente ao ataque, com o objetivo de desmantelar mais depressa a força adversária. Então vencerá, não quem melhor aparar os golpes, mas quem souber desferi-los com maior vigor.

O Reich vem conduzindo a guerra com uma sabedoria que conquistou para os seus estadistas e os seus generais a admiração mesmo dos mais renhidos desafetos. Até hoje, os alemães ainda não falharam. E é isso que inquieta, no mundo inteiro, os amigos da Inglaterra. Quando chegar o momento, que furores se despenharão sobre a ilha, invenciveis na sua arrancada?

Todavia o tempo está correndo e ele sempre foi aliado da Grã-Bretanha. Sê-lo-á ainda desta vez? Terão fundamento as previsões de que a força inglesa crescerá cada vinte e quatro horas tanto quanto decrescerá a força alemã, sob os efeitos imediatos dos bombardeios da R. A. F., ajudados pelos efeitos morosos do bloqueio da esquadra britânica?

As profecias continuam a desmoralizar os profetas. São arriscadissimas. É preferivel não correr tamanho risco. . . .

Admitida a possibilidade do abandono de Londres

NOVA YORK, 11 (Domei) — Num artigo verdadeiramente sensacional, o jornal pró-britânico «New York Times» admite como provavel o iminente abandono de Londres.

Diz o diário que a intensidade dos ataques aéreos germânicos poderá facilmente decidir o governo inglês a tomar semelhante resolução, acrescentando que a evacuação inglesa não significaria porém, que o governo britânico se confessasse derrotado. Tratar-se-ia apenas de uma medida de segurança. Londres deixou de ser um centro nervoso vital, pois os constantes bombardeios alemães anestesiaram por completo sua rêde de comunicação com os outros orgãos do país. Neste momento a capital inglesa é um centro de neurastênicos, de maneira que as autoridades britânicas já tomaram todas as precauções para os próximos acontecimentos. Alem da instrução de 10000 enfermeiros, foi reforçado o corpo de bombeiros, sendo feita a instalação de 15000 camas adicionais nos hospitais, tudo isto na expectativa de momentos mais trágicos. O governo inglês no momento oportuno transferir-se-ia para um outro centro nervoso dos muitos que abundam na Grã-Bretanha.

LEIA NO SOSO
KODOMO NO SONO
Suplemento do jornal "Noticias do Brasil"

NOTICIARIO ESTRANGEIRO
DO
«NOTICIAS DO BRASIL»
É FORNECIDO PELA AGENCIA
TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

ホームセクション

泣き癖を警戒せよ

賢明な母親の頓智が必要です

赤ちゃんは何かを求めて泣いてゐます、賢明なお母さんなら泣き聲によって赤ちゃんの要求を見分けられるはずです何かを要求してゐるのに滿たされないでほっとかれると次第に泣き癖がつきます、自分の要求貫徹のため泣きの一手で相手を困らせることを覺えるのです、親が約束をしたが何かの事情で履行できなくなると三時間ぐらゐエーンエン泣く、だからそんな子供には一たん約束したなら出來るだけ果すこと、それが出來なくてもオモチャを出してやるとか友だちの聲がすればスッと友だちのところへ連れて行くとか、その場の氣分を轉換することが大切で、それにはお母さんに頓智がなければなりません。

それをお菓子などでごまかすといつもさうしなければ相變らず長泣きをつづけることになるでせう。滿足感をもって自分の生活を肯定して行くことの出來るやうにシッケて行けばなにも相手を困らせなくてもいゝのです。

また生れつきの氣の弱い子が溫室育ちのために、あるひはお祖母さんに育てられたか姉妹ばかりの中で育った男の子といふものは感情的に泣き癖がつくものです、弱いといふことが年とともにわかれば泣かなくなりますから、つとめて自主的にシッケるほか、かれこれいふこともないでせう。

情意不安定、わかりやすくいへば神經質のために氣分の不安定を解消させる方法として泣く子がゐます、泣くことによってイラ/\した氣持をはらすわけです、だいたい小學校四、五年くらゐまで續きます歌をうたっても笑ってもいゝ、何も泣かなくても他の方法によって不安定の氣分を解消することの出來ることを體得させたらよろしい、泣き出したら散歩にでも連れ出します、それをなだめるためにお菓子やお小遣ひを與へると今度はそれらがほしいといって泣く——となると全く藪蛇です。

生れつきの變質者、ヒステリーのため三、四時間も泣きつづけるのがあります、こんなのは原因が治らぬ限り大人になっても泣き癖は治りません。

長壽讀本

老年は殊にビタミンが缺乏しないやう

眼病を防ぐにはAを

若い時代とちがって、老人は發育もしないし勞働も一般には激しくないので、あらゆる（榮養素）は少くて濟みますがと、いって少な過ぎて不足するやうなことは禁物です。ビタミンについて申上げると

Aが不足すると抵抗力が弱くなり、胃の内面にある絨毛が萎縮するため消化吸收が十分に行けれず、一方胃腸管内に細菌が發生し、折角とった榮養もそれらのものに利用されて實際には人間の生存のために利用されない。またいろ/\の夜盲症、眼干燥症、結膜炎、眼角炎といったものにおかされやすいのでAは相當攝取しなければなりません。殊に老人は眼が惡くなりやすいので一層必要です

これらのものを多く持ってゐる食物は黄色のもの、例へばニンジン、かぼちゃ、サツマイモなどに多く（動物性）のものではバタ、クリーム牛乳、卵黄等です。

つぎにビタミンBは今日1から7まであるといはれてゐますが、まづ大別すると1と2です。1は潜在性B1の缺乏症、脚氣を豫防治癒させますが脚氣は白米を主食にしてゐる關係から日本人には非常に多く、[illegible]である身體に幾分むくみのあるものも多い。これはビタミンB1の缺乏のためですが、その外にも胃腸筋肉の弛緩、胃下垂、胃筋衰弱、便秘なども起って來るといはれます。

（一方で）ばまた疲勞しやすく、眠くあくびが出やすいともいはれます。この物質は玄米、半搗米、胚芽米、七分搗米などにあるのでこれらを主食にすれば結構です。また小豆、大豆、キビ麥等にも多く含まれてゐます。

なほB2の方は卵白をはじめ動物性の食品に多いのでさうしたものを適當にとることも必要です。

お鍋やお釜を利用して蒸し物を作る法

むし器以上に能率も上る

蒸し物といへば、茶碗蒸し御飯むしといった風に、普通の家庭ではそれら以外に余りやりませんが蒸したものは風味がすぐれてゐるばかりでなく榮養分が水中に浸出する量を少しで止めることが出來るので、榮養價も煮たものにくらべると大です。

また蒸し物といへば、蒸し器でないと出來ないやうに皆が考へてゐるやうですが、これも間違ひで、普通日常に使用されてゐるナベでもちろん、ちよっとした適當の工夫を加へることによって、立派に専門の蒸し器以上の能率をあげることが出來ます。

それには底に近く中底を板などで作って入れさへすればよい、蒸し物をするコツは、蒸氣が洩れぬやう蓋をよくすること、湯氣がふくやうになったら、その湯氣が眼に見えるか見えぬ程度に火を弱めて置く

かやうにして行くと同じ蒸し物でも二割から三割も燃の利用が少くて濟む

『よもぎ』の利用法

こんなにも役にたつ

土地によっては餅草ともいふよもぎは、どこにも多い草ですが、薄くころもをつけて揚げますと、香高く味が輕く、子供たちに大變喜ばれます、また乾しておいたのを夏の夕方一といぶししてから蚊取線香をたてますと隨分ちがひます、生のまゝ細かく刻んで便所へ入れますと蛆が湧きません、また乾かして揉み潰したのは冬台所用蒲團綿の代用になり、煎じて風呂に入れると、からだがポカ/\温まります

初夏の美容

季節に馴れぬ肌

化粧品は變へぬこと

これから初夏へかけての皮膚は、氣溫に訓練されないのと食物の關係などから時によると吹出物が出たり、肌荒れがしたり、色々な變化を皮膚に來すことがあります

手當 としてこの季節に注意したいことは、皮膚が敏感になってゐますから、化粧品をなるべく變へないことゝあまり香の強いものをお使ひにならぬことです、氣候の變り目は皮膚がそれに馴れるまで保護することが必要で、殊に分泌物が旺になり、汗ばみ易く、戸外の運動をなさる方などは埃をかぶり、そのため毛孔を塞ぎますから、手まめに汚れを皮膚に止めぬやう注意します

外出 後、または就寢前は脂肪性の方は良質の石鹸で洗顔し、普通の皮膚の方はコールドクリームで汚れを拭き清め、その後必ず收斂性の化粧水をつけるやうにいたします、これからの季節に向って、胡瓜、夏みかんなどの汁を化粧水代りになさるのもよいと思ひます

世紀の英雄

香仲二　夏目[illegible]

（二十五）

レビュ皇軍行進（六）

「そのショールをつかひ出す時、何の色を掛るんです？僕はヴイオレットかローズだと思ひますがねえ」

二階の客席からオーバウールにおどけて踊子のベレエをかぶった男が怒鳴った。電氣屋の小僧からこゝの專務に見込まれて照明主任になった男だ

「さうだなあ、一寸待った」

舞台からユッカー一つで上は海水着を着たこゝの演出家が怒鳴り返して、智津子に、

「大和さん！色、何がいゝです？常套的だけど結局ヴイオレットあたりぢゃないですかね」

「ヴイオレットでも結構ですが、コスチュームとパックが原色だからいっそ黄色なら、どうでせう？」

「黄色も面白いなあ」

「でも、あたしの考へだから當になりませんよ」

「どうして、貴女の色彩に對する考へは、貴女の踊り位に正確ですよ」

「濟みません。まだ、でもサラリー前よ」

と、言って彼は輕く笑って口を噤み、すぐ舞台での眞劍な表情に戻りポーズをとゝのへた

「では黄色でお願ひします」

と、返事の代りに客席の兩袖に裝置してある照明機から黄色の光りが流れだした

黄色が智津子に浴びせられると、手も腕も頰も蠟人形のやうに透明な色艶をおびてくるのであった。眞黑なレースのコステユームに光線を反射し、そして又吸收した皮膚、ぐつと引つめて結んだウエーブしてない髪、それにさゝれた大きな櫛、それ等總て「炎熱の戰線」さうした感じでまざ/\迫ってくるのであった

「成程黄色が巧く生きたね」

演出家は助手に囁いた。そして

「樂をお願ひします」

オーケストラボックスに言葉をかけると、ボレロがゆるやかに流れ出した。智津子は漆黑のショールをその流れにのせて揚羽の蝶のやうに舞った

「この景は成功しましたね」

「全景の中でおそらく一番印象に殘るでせうよ」

演出家と舞台監督が智津子を凝視しながら囁いた

「新聞社や雜誌社に發るの、この景がいゝぜ。舞台面と、大和のアップに半身とを、これが終ったらすぐ寫って」

專務が度の強い眼鏡から宣傳部の者に命令した

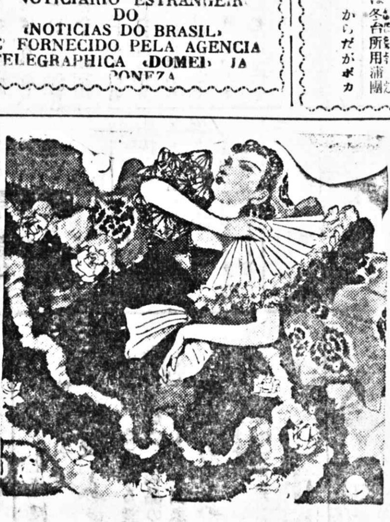
「スペインのアルヘンティーナが來た時、わたしは大和君と大阪の阿坂君をつれて毎日帝劇へ通ったものですが、結局アルヘンティーナの踊りをつかんだのは大和君ですよ。阿坂君はあの通り技巧のすぐれた女だから踊り振りはアルヘンティーナにそっくりになりましたが、魂はつかんでゐません。ところが大和君はアルヘンティーナの魂を會得してゐます。今、——踊ってゐる大和君にはアルヘンティーナの魂が反映してゐますよ」

洋舞振付の教師は一つ/\情熱的な線を描いて行く智津子の肩や腕に瞳を据えて美術部長に言った。部長は背景、衣裳考案、道具、一切を一人で引受けてゐるのだ

さうした讃嘆の中に、舞台の上手の袖に隱れて

「いゝなあ。素晴しいもんだな。一度でいゝからあの姿が自分の傍に來てくれないかな」

と、美術部の衣裳考案の助手をやってゐる宮城京平は小さな聲で自分に言った。そしてそんな言葉が出たのに我ながら驚いて頰をあからめた。だが舞台の大和智津子はあらゆる角度から自分に向けられてゐる視線を無視して悠々とボレロに乘ってゐる



時報商事部
時報支社 地方取次所
（Lins - R. Com. Salgado, 144
Marilia - R. Paes Leme, 306
P. Prudente - R. Ruy Barbosa, 70）

御注意 價格大小型御希望によって如何樣にも御註文に應ず

◎神棚各種
第一號型 高四〇センチ、巾三五 七〇釬（荷作共）
第二號型 高四〇センチ、巾三二 四〇釬
第三號型 高三八センチ、巾二〇センチ、三〇釬

▲三寶
大 一個 一五釬
中 一個 三釬
小 一個 二釬

黒塗 高さ一〇センチ 巾二〇センチ 價格一〇〇釬

内外金箔付 高さ二三センチ 巾一〇センチ 價格五〇釬

◎佛壇各種
第一號型（高七〇C 巾四〇C） 價格四〇〇釬（荷作共）
第二號 三五〇釬
第三號 二五〇釬
第四號 一〇〇釬
第五號 百五十錢
第六號 百釬

母國では敬神崇祖鼓吹の爲・神祇院が新設されます

YAMASHITA LINE
山下汽船株式會社
往航 極東—紐育—南米—定期航路
復航 南米—ニユーオルレアンス—羅府—極東
太平洋岸、フイリピン行荷物輸送引受け候
使用船舶壹萬噸型新造優秀貨物船
山彦丸 往 九月廿六日頃 復 十月十一日頃
山月丸 往 十一月廿四日頃
南滿丸
山霧丸 往 十月廿日頃 復 十一月十日頃
山風丸 復 九月十五日頃
山浦丸
サントス市 JOHNSON LINE AGENCIES
Praça da Republica 22 Telephone 4694 e 5107 Santos
聖市 L. FIGUEIREDO & CIA.
Rua Libero Badaró, 92 - Phone 2-7125 - S. Paulo
詳細は左記弊社代理店にお問合せ下され度候
（貨物船に付き旅客運送は勝手乍ら御斷り申上候）